

2017年7月21日(金)

仙丈ヶ岳 (3,032.9 m) ①

～Report by 高橋(雄)～

日本百名山の一つ、仙丈ヶ岳。この季節は高山植物が楽しめ、花の百名山の本にも載っており、「南アルプスの女王」ともいわれている。

参加者は熊本さん、能勢さん、吉松さん、高橋(文)さん、石井さん、高橋(雄)の6名。



朝 9:30

甲府駅集合。北口バス乗り場1番から広河原行きバスに乗り、10:05発。

平日なので空いているかと思ったら、夏休みに入った学生のグループもいたりして、結構人が多く、バスは増便され、2台で出発。



12:00 少し前に広河原着。

乗り換える北沢峠行きのバスは時刻表では12:30発で、予定ではその間の30分でここで昼食を摂ることにしていたが、客が多く、すぐに臨時便が出ることになり、あわてて乗車。

12:35 北沢峠着。



北沢峠のバス停のすぐそばにはクリンソウが群生していて、我々を出迎えてくれた。



クリンソウを愛でながら昼食。

←を撮ってる私↓

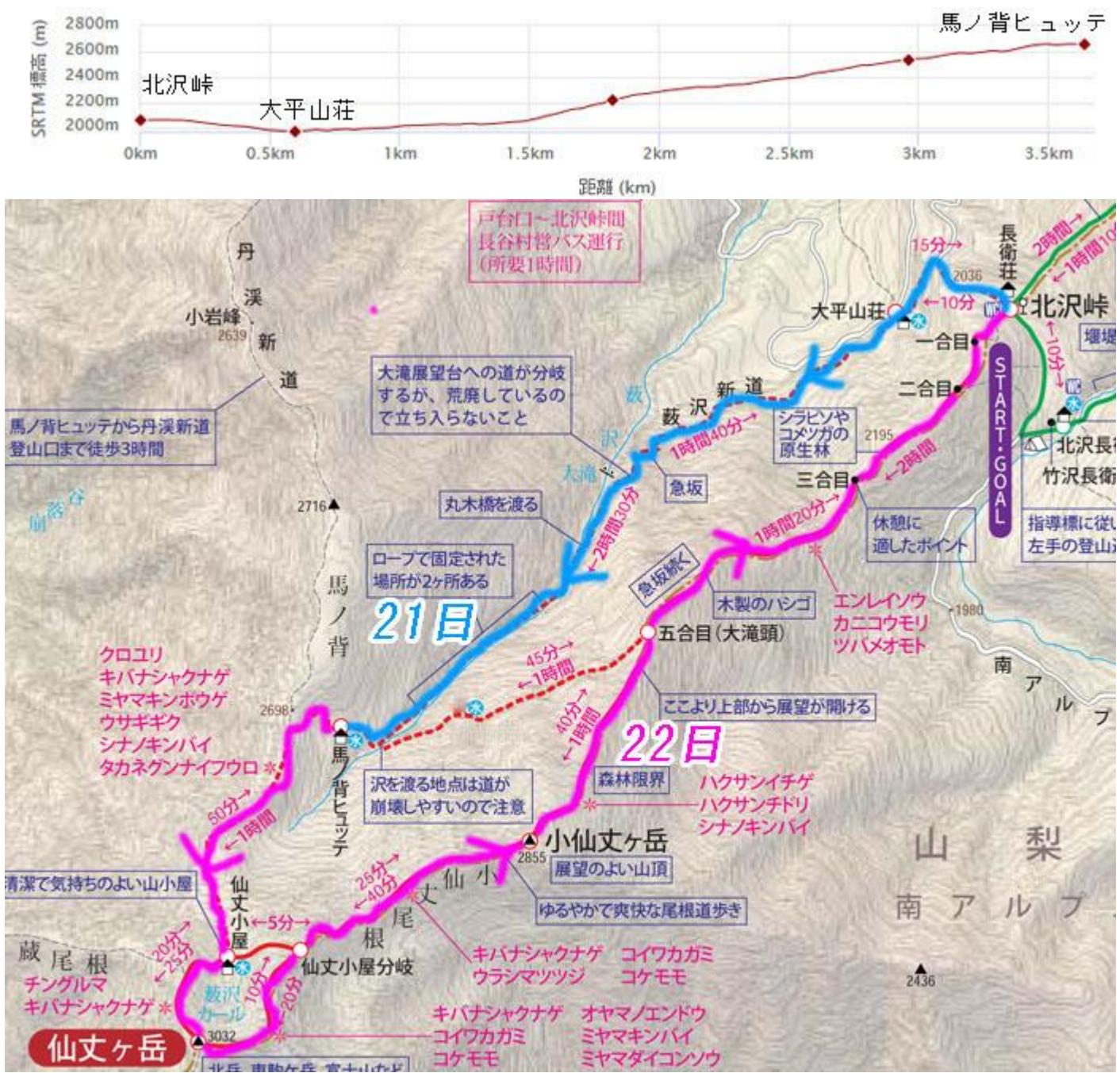




12:57

昼食後、クリンソウをバックにスタート写真。

本日、21日のルートは北沢峠 2036m→大平山荘 1960mに一旦下り、→藪沢新道→馬ノ背ヒュッテ 2630m 泊。



明日、22日のルートは、馬ノ背ヒュッテ 2630m→仙丈小屋→仙丈ヶ岳 3032.9m→小仙丈ヶ岳→北沢峠 2036m。



13:05

歩行開始。林道を西方向（広河原の反対）へ。
道の両脇にクリンソウが咲いている。



13:09 林道から大平山荘へ下る山道に入る。



ウスダケ シナノオトギリ



13:13

大平山荘。右手奥が藪沢新道への登山口



本格的な山道に入る。



ギンリョウソウ マイヅルソウ



コンロンソウ？



ススホコリ



コミヤマカタバミ



ゴゼンタチバナ



13:38 椿の木展望台で最初の休憩。
鋸岳が見える場所だが、鋸岳は雲の中。



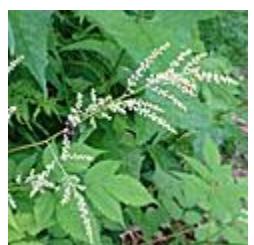
ここから先は急登となる。
葉にトゲのあるハリブキがあった。



14:12 2回目の休憩。



ハタザオ？



ヤマブキショウマ



14:39 標高 2300m 付近。残雪から流れ出ている沢の橋を渡る。



モミジカラマツ



ツマトリソウ？



ポツポツと雨があたってきた。
たいしたことはなさそうだが、念のためザックカバーを装着。



残雪の沢を登る。雪は腐っていて、アイゼンなしでOK.だが慎重にステップをきざむ。

高山植物が目につきだした。登るにつれてどんどん出てくる。その都度カメラに納めるので遅々として進ます。



タカネグンナイフウロ



シナノキンバイ



ノビネチドリ



ヤマガラシ



キバナコマノツメ



アオノツガザクラ



ハクサンイチゲ



ハクサンフウロ



ヨツバシオガマ



ミヤマキンポウゲ



ミヤマカラマツ



ウサギギク



マルバダケブキ



ナナカマド



シャクナゲ



コイワカガミ



16:00 大滝の頭からの道と合流し、馬の背ヒュッテへの本日最後の一登り。



16:15

馬の背ヒュッテ到着。
多くの花を撮りながら登ったので予定より
15分遅くなってしまったが特に支障なし。
お疲れ様でした。

途中ザックカバーをつけたが、ほとんど雨に
あたらずに済んだのはラッキー。



金曜日なので空いてるかと思いきや、なんと
満員。クラブツーリズムの団体や NHK の撮
影隊なども入っている。
寝床は大部屋で一人半畳程度。ザックは寝床
に持ち込めず、入り口近くのザック置き場で
着替え。

夕食は 17:45～なので、それまで外のベンチで過ごす。必然的に生ビール (¥900) で乾杯。





17:45

夕食。馬の背ヒュッテ特製カレー。

夕食後もまだ外は明るい。再び外のベンチでまつたり。甲斐駒ヶ岳にかかっていた雲がとれてはっきり見えた。



甲斐駒ヶ岳

NHK の撮影隊は BS1 の土曜日午後 5 時～ 30 分番組の「実践 にっぽん百名山」とのこと、タレントの工藤夕貴さんが入っていた。



日没後は食堂に戻ってさらに一杯やりながら過ごす。食堂は他の宿泊者もいっしょで盛況。

その様子は以下の馬の背ヒュッテの facebook にアップされている。(全体写真の一番奥の 6 人が我々)

<https://www.facebook.com/umanosehutte/photos/pcb.1630968836921465/1630886540263028/?type=3>

20:30 消灯。

しかし畳半畳に一人の狭さ故、隣の人とぶつかったり、いびきが気になつたりで寝付けない。ひたすら目を閉じているだけでも休まっているはず・・と信じて長い夜を過ごす。・・・いつのまにか自分もいびきをかいていたようで、自分の大きないびきで目を覚ましたり、うつらうつら・・・

0:50 に外にあるトイレに行った。見上げると満天の星空。天の川がきれいに見えた。明日も晴れますように・・・